

芳村先生の焼き戻し

広藤明人 2024.1.19

会員が今まで芳村先生に教わってやってきた焼き戻しは、実は教室陶芸と同じになっていたのではという疑問がありました。

芳村先生の云う教室陶芸と自主陶芸の違いは、教室陶芸では本焼き 1250 度一度で作品が完成したことにする。これを普通焼きと名付けました。一方自主陶芸とは、自分で土や釉薬を探し、自分で焼くのが基本。しかも土や石が本来持っている自然の色を出すため普通焼きの後 1050 度くらいの低温で焼く。何度も温度を変えて焼く。

こうすることで土や石の中にある金属などの色がつく呈色物質が出やすい温度とねらし時間や冷却速度などに反応して、器の表面に自然の持つ本来の色や景色を見せてくれるというのです。つまり 1250 度普通焼きで終了してしまうと、自然の土や石を釉薬にして焼く場合は、黒や茶などの濁った一色になることが多いのです。が、その後 1050 度前後の低温(850℃~1100℃)で温度を変えて焼成すると本来の色が戻って来たりするので「焼き戻し」と名付けたのです。しかし会員の多くの焼き戻しは 1050℃で一度焼いて終りというのが多かったような気がします。これでは教室陶芸と同じでは…

自然の彩色の地球と相談して焼き戻す、明るい陶芸です。再現性は今のところありません。予定調和でない陶芸です。託すのは窯だけではありません。土と石と焼きにも託します。そして土、石、が地球の細やかさを彩色してくれます。だから自然の不確定性と仲良くします。何が出るかわからないことが面白いのです。

というのが芳村陶芸思想！

焼き戻し陶芸はダレでもできる話ではありません。土や石を細かくして何度も焼くのです。ある意味根性の焼きです。何度も焼いてまた戻して焼くのです。地球は何万回もそうなんです。だから地球は面白い！ どうして何度も焼く必要があるかと問われれば、地球と同じように何度も焼き戻すことで土や石に花が咲くのです。これが持続可能な地球の自転陶芸です。

初めて焼き戻した時、陶の表面のテカリや色や景色が下品ではと感じるかもしれませんがそれでよろしい。何度も焼くうちに地球が彩色してくれて、見たことのない自然の陶芸が出てきます。出たとこ勝負の陶芸ですが とりあえずよろしく。グッドラック アース

自分で採土してきた土や石をできるだけ細かくして、何℃でも焼け、何回でも焼け！！これがご遺言！！のような…

* 掲載写真は芳村先生の出版物にあった作品が主です。



焼き戻しの景色と色

1 焼き戻しの芳村理論

1250℃で焼くと、真っ黒のようになる。何故か。いろいろな色の溶け合わない絵の具を全部混ぜて掻き回すと遠目では黒く見える。しばらく経って重い絵の具が沈んだり、水が見えたりすると、絵の具がそれぞれ分離して明るい色がでてきたりします。

1050 度に焼き戻すと青とか色が出る。何故か。

金属〔鉄など〕が元の固体の色に戻るから。

いろいろな色が出るのは何故か。いろいろな金属が入っているから。

いろいろな濃度で色が異なるし、薄膜だと構造色かも。

金属と鉱物の溶け方の違いです。金属は溶けてまた冷却されると、溶ける前の状態に戻るが、土は戻らないのです。

2 焼き戻しのパターン分類

- ① 青白流し もっとも多い
- ② 多色マーブル 五日市、入間川
- ③ 天目流し 秩父土(天野雅夫)、カイロ灰、角間水打(宮澤)
- ④ べた混色 芳村秩父土
- ⑤ その他 沈金、金墨流し、墨流し、結晶、油滴(萩原)

3 どうすれば芳村焼き戻しに近づくか！

芳村焼き戻し例 色の種類、鮮やかさ、分離

芳村の焼き戻しは景色が複雑で粒子が細かく多色で切れが良い

その理由 焼き回数、保持時間薪窯、粒子の細かさ

分散度合 濃度調整 透明釉薬と珪石の比率

透明釉薬またはフリットおすすめ 右記

(新日本造形株) 0120-26-0246)

<お電話受付時間>営業日の9時~12時・13~16時まで

4 焼き戻しに良い土石を選ぶ

鉄分の割合、濃度など、分散度

大島半島鉄 30%、秩父金山神社、カイロ灰、群馬鉄山釉薬

秩父鉾山大黒

大江山(大島半島、加悦鉾山、河守鉾山)

三重県伊勢市朝熊山橄欖岩

その他

栃木足尾銅山、矢板寺山鉾泉、大分豊栄鉾山

土、焼き戻し



写真15 栃木県矢板市寺山鉾泉の噴出土を化粧がけして高温焼成し、低温透明釉をかけて焼戻したもの



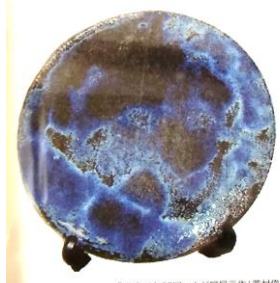
写真16 大分県綾方可豊栄鉾山境内からの噴出土を化粧がけして高温焼成し、低温透明釉をかけて焼戻したもの



写真17 埼玉県大津村大黒の土を化粧がけして高温焼成し、低温透明釉をかけて焼戻したもの



写真18 埼玉県大津村大黒の土を化粧がけして高温焼成し、低温透明釉をかけて焼戻したもの



〔平成14年3月27日〜へんと展覧会〕芳村焼一

新日本造形株

① 楽透明釉薬 A(無鉛)1kg

品番 255-347 粉末 2200円

税込み

焼成温度850~880℃焼き上がり透明・無色の楽焼用上掛け釉薬です。素焼き作品にした絵の具で絵つけした後、水で溶いて薄めに掛けます。

② フリット(白玉)無鉛1kg

品番 255-879 2420円(税込み)

<https://www.zowhow.com/>